

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門スポーツ実習(剣道)		
担当者(Instructors)	櫻井 秀樹	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

剣道とは、剣の道理や理合を理解しながら、心身の鍛錬を通して、人間形成を目指すのが真の目的である。また、スポーツとしての爽快感を持ちながらスポーツ分野とはやや異なる(武道)のが剣道の特徴といえる。まず、ここではスポーツ(武道)の指導者として、剣道を正しく理解し、実技では基本技能を習得することを目標とする。基本技能は、礼儀作法を始めとし、素振り、防具を着けての基本打ち、地稽古、試合稽古(審判法)などを行う。また、剣道を通して公正・協力・責任など社会的な態度を育成し、安全に稽古できる指導者としての心構えも身につけることを目標とする。以上の内容を実習形式で行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	東邦高校の剣道場や防具(高校共有)等を使用し、教員として最低限の実技指導などができることを目指す。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	第1回 レポート課題	自己紹介 教職を目指す理由	<input type="checkbox"/>
第2回	第2回 レポート課題	剣道の歴史 学習指導要領	<input type="checkbox"/>
第3回	第3回 レポート課題	構え 素振り 足運び 用語(気剣体一致 残心)	<input type="checkbox"/>
第4回	第4回 レポート課題	竹刀の名称、役割 切り返し 基本打ち(面 小手 胴 突き)	<input type="checkbox"/>
第5回	第5回 レポート課題	二段打ち つばぜりあい 引き技 用語(守破離 無念無想)	<input type="checkbox"/>
第6回	目標 剣道の説明 歴史	竹刀の説明 授業ガイダンス 諸注意	<input type="checkbox"/>
第7回	基本動作(1)礼法、正座(2)足運び(3)構え	剣道に最低限必要な礼法、足運びおよび構えを習得する。	<input type="checkbox"/>
第8回	基本技能(1)素振り各種	正面素振り、左右の素振り、跳躍素振りなど基本的な素振りを習得する。	<input type="checkbox"/>
第9回	基本技能(2)打突(人形等を打ってみる)	実際に竹刀、人形などを打突させ、剣道としての打ち方を習得する。	<input type="checkbox"/>
第10回	教員採用試験実技対策	教員採用試験の実技ができるよう指導する。	<input type="checkbox"/>
第11回	試合及び審判法(1)試合指導(2)審判指導	試合および審判ができるようにする。	<input type="checkbox"/>
第12回	基本技能の試験	実技試験 基本素振り(正面素振り・左右素振り・跳躍素振り)の評価をする。併せて評価方法の指導も行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	まとめ 評価アンケート	まとめ	<input type="checkbox"/>
第14回	第6回 レポート課題 審判方法	試合および審判ができるようレポート課題とする。	<input type="checkbox"/>
第15回	第1回 レポート課題課題7回目 まとめ	まとめ	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

剣道に関する書籍やDVDなどを視聴する(1時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

素振りの試験は、実際に評価ポイントを説明しながら模擬採点を行い、防具を付けての切り返し、基本打ちは講評を行いポイントの指導する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	剣道の指導に必要な知識、および基本技能、指導方法を習得しているかどうかを評価基準とする。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
0%	0%	0%	40%	60%
授業内試験等(具体的内容) (Specific contents) 対面授業内で実技試験を行う。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	剣道の訓 (愛知県剣道連盟) 全日本剣道連盟試合規則および審判規則	
2	必要に応じて資料を配布する。	
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	スポーツシリーズQ & A 実践剣道 矢野博・著 (大修館)	
2		
3		
4		
5		